

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
芸術	音楽 I	2	1年全科	(選択) 必修	MOUSA 1 (教育芸術社)	高校生のための音楽ノート (カワイ出版)

学習目標	音楽に関する基礎的な知識や技術を身に付け、生涯音楽を愛好できる感性を磨く。歌唱は斉唱や合唱、様々な国の歌唱を通じて歌う力を養い、楽しさを知る。さまざまな楽器の奏法を学ぶ。
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景を理解し様々な表現形態による器楽・歌唱を身につけている。
	「思考・判断・表現」 歌唱・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。
	「主体的に学習に取り組む態度」 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価の方法	「知識・技能」 実技課題や小テスト
	「思考・判断・表現」 実技課題への取り組み
	「主体的に学習に取り組む態度」 日々の実技課題やプリント学習への取り組み方

学期	学習計画および内容
1 学期	教科書の中から親しまれている歌曲を歌う。ミュージカル等の鑑賞。基礎的な楽典を学習する。 (歌唱実技試験)
2 学期	クラシックギターの基礎的な知識や奏法を学び、簡単なメロディーを演奏する。基礎的な楽典を学習する。 (ギター実技試験)
3 学期	二部合唱を歌い、ハーモニーの美しさを感じる。少人数アンサンブルをする。キーボードを使用し創作する。 (歌唱実技試験)

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	・クラス状況によっては学習計画及び内容が変更となる場合がある。
---------------------------	---------------------------------

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
芸術	美術 I	2	1年全科	(選択) 必修	美術 1 (光村)	

学習目標	美術の幅広い創造活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を伸ばす。
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。美術文化の知識や技法の知識を理解している。
	「思考・判断・表現」 造形的な良さや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識を持って美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができる。
	「主体的に学習に取り組む態度」 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を持ち、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造しようとしている。
評価の方法	「知識・技能」 机間巡視による観察・作品
	「思考・判断・表現」 机間巡視による観察・ワークシート・提出物
	「主体的に学習に取り組む態度」 机間巡視による観察・ワークシート・提出物・プレゼンの取り組み

学期	学習計画および内容
1 学期	デザイン:ロゴマーク制作に取り組み、オリジナルのデザインを自分なりに表現する。 実在するデザインの工夫を読み取り自身の制作活動に活かす。
	鑑賞:小テストを通して、美術史に影響を与えた作品を鑑賞する。 日本及び諸外国の美術文化の相違性や共通性に気づき、それぞれの良さや工夫を味わう。
2 学期	絵画・彫刻:モダンテクニックを習得し、テーマに沿った絵画表現に取り組む。 技法を効果的に表し、自分なりの工夫やこだわりを持つ。
	作品や美術文化などの鑑賞:日本及び諸外国の芸術活動に目を向け、現代に活躍する作家から現代における芸術の意義を学び、視野を大きく広げる。
3 学期	映像メディア表現:タブレットを用いてオリジナルのストップモーションアニメを制作する。 効果音や字幕などを効果的に表現し、映像編集の技術を学ぶ。

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	・教材費として2000円必要となる。 ・クラスの状況によっては学習計画及び内容が変更となる場合がある。
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
芸術	書道Ⅰ	2	1年全科	(選択) 必修	新編書道Ⅰ (教育出版)	

学習目標	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を伸ばす。
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。
	「思考・判断・表現」 書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
	「主体的に学習に取り組む態度」 主体的に書の幅広い活動に取り組む、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を育もうとしている。
評価の方法	「知識・技能」 机間巡視による観察・作品
	「思考・判断・表現」 机間巡視による観察・ワークシート・提出物
	「主体的に学習に取り組む態度」 机間巡視による観察・ワークシート・提出物・プレゼンの取り組み

学期	学習計画および内容
1 学期	漢字の書：楷書(『九成宮醴泉銘』・『孔子廟堂碑』・『牛橛造像記』)の臨書を中心に用具用材の特性を理解する。古典をしっかり見ることを重視した上で、書く技能を身に付ける。 漢字の書：好きな漢字1文字を字書で調べ、うちわに創作する。また、同じ講座のメンバーの作品を鑑賞する。美しく書くだけではなくうちわを使用する人や場面、場所など考えて撰文をする。
2 学期	漢字の書：行書(『蘭亭序』)を講座全員で分担、全臨する。用具用材の特性を理解し、原寸の古典を拡大し半紙に6文字臨書する。 篆刻：2.5cm角の印材に姓名印を刻す。(白文) 仮名の書：平仮名の学習。字母を理解し仮名のリズムを意識し表現する。
3 学期	漢字仮名交じりの書：漢字かな交じりの書の幅広い表現の活動に取り組む。文字の大きさや全体構成、自ら考え理想と感ずる作品に少しでも近づけるよう工夫し完成させる。

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	・教材費として3000円必要となる。 ・クラスの状況によっては学習計画及び内容が変更となる場合がある。
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
芸術	音楽Ⅱ	2	2年・普通科 スタンダード・情報 ビジネス・システム工学		MOUSA（教育芸術社）	なし

学習目標	○音楽を愛好し、興味関心を持つと共に、音楽の豊かさや、楽しさを感じ取り、自己のイメージを表現するための、基礎的な技術を身につける。 ○色々な音楽に興味関心を持ち、幅広く鑑賞する能力を養う。
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景を理解し様々な表現形態による器楽・歌唱を身につけている。
	「思考・判断・表現」 歌唱・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。
	「主体的に学習に取り組む態度」 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価の方法	「知識・技能」 実技課題や小テスト
	「思考・判断・表現」 実技課題への取り組み
	「主体的に学習に取り組む態度」 日々の実技課題やプリント学習への取り組み方

学期	内容
1 学期	イタリア歌曲・ドイツ歌曲を中心に歌唱する。 個別の課題に沿った課題を設定しそれを出来るようにする。 様々な音楽の知識(より高度な楽典)を学ぶ。楽典を学習する。 -----
2 学期	イタリア歌曲・ドイツ歌曲を中心に歌唱する。 個別の課題に沿った課題を設定しそれを出来るようにする。 様々な音楽の知識(より高度な楽典)を学ぶ。 創作(作曲や作詞など)などを行いより音楽の知識を深める。楽典を学習する。 -----
3 学期	個別の課題に沿った課題を設定しそれを出来るようにする。 創作(作曲や作詞など)などを行いより音楽の知識を深める。楽典を学習する。

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	・「音楽Ⅰ」を履修している人のみ履修できる。 ・クラス状況によっては学習計画及び内容が変更となる場合がある。
---------------------------	---

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
芸術	書道Ⅱ	2	2年・普通科 スタンダード・情報 ビジネス・システム工学		美術2 (光村)	なし

学習目標	美術の幅広い創造活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を伸ばす。
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。美術文化の知識や技法の知識を理解している。
	「思考・判断・表現」 造形的な良さや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識を持って美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができる。
	「主体的に学習に取り組む態度」 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を持ち、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造しようとしている。
評価の方法	「知識・技能」 机間巡視による観察・作品
	「思考・判断・表現」 机間巡視による観察・ワークシート・提出物
	「主体的に学習に取り組む態度」 机間巡視による観察・ワークシート・提出物・プレゼンの取り組み

学期	内容
1 学期	デザイン: パッケージデザインに取り組み、オリジナルの内容物を自分なりに表現する。 様々な技法や、架空のものを表現することを通して学習する。 鑑賞: 新旧様々なアートに触れ、それぞれの魅力を感じる。 鑑賞するだけでなく、他の生徒と意見交換や発表を行う。
2 学期	彫刻: 尾鷲市地域特産の「尾鷲ヒノキ」を用い、独創的なしをデザインし、それを造形する。 尾鷲市主催の「マイはしコンテスト」に出品を目指す。 作品鑑賞: 新進気鋭のアーティストや、アニメーション作家の作品などを幅広く鑑賞する。
3 学期	絵画: 自分の選んだモチーフ(CDのジャケットや漫画の表紙など)をトレースし、細部に至るまで模写をする。

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	※教材費は年間で約2,000円必要です。 ※学習する各テーマは、実施する学期が変わることがあります。 ※生徒の実態や希望に合わせ、学習内容は変更します。
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
芸術	書道Ⅱ	2	2年・普通科 スタンダード・情報 ビジネス・システム工学		書道Ⅱ (教育出版)	なし

学習目標	書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に着けている。
	「思考・判断・表現」 書のよさや美しさを感じ取り、書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができる。
	「主体的に学習に取り組む態度」 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を育もうとしている。
評価の方法	「知識・技能」 机間巡視による観察・作品
	「思考・判断・表現」 机間巡視による観察・ワークシート・提出物
	「主体的に学習に取り組む態度」 机間巡視による観察・ワークシート・提出物・プレゼンの取り組み

学期	内容
1 学期	篆書の学習 ①用筆法②古典の臨書③古典の鑑賞④作品制作
	篆刻の学習 ①篆刻の方法 ②落款印の制作～検字・印材調整・印稿・布字・運刀・押印・補刀・側款～
2 学期	隸書の学習 ①用筆法と字形②古典の臨書③古典の鑑賞④作品制作
	草書の学習 ①用筆法②古典の臨書③古典の鑑賞④作品制作 楷書・行書による学習 ①古典の臨書②古典の鑑賞③作品制作
3 学期	仮名の学習 ①古典の臨書②古典の鑑賞③作品制作 漢字仮名交じりの書の学習 ①表現の工夫②鑑賞③作品制作

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	* 基本的に、毎時間作品を提出します。書道は、集中をし、何度も何度も同じことへの繰り返しのなかから、上達するものです。自ら進み、積極的な気持ちを持って履修するようにしてください。 * 教材費は年間で約3,000円必要です。 * 学習する各テーマは、実施する学期が変わることがあります。 * 1年次「書道Ⅰ」を履修した人しか選択できません。
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
芸術	総合音楽	2	3年・普通科 スタンダード	選択K	なし	なし

学習目標	○1, 2年生で得た知識と技術を生かして、より高度な音楽表現を追求する。 ○アンサンブルやグループ活動を通して他者と協調して一つの音楽を作り上げる。 ○さまざまな音楽に触れることで感性を磨く。
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景を理解し様々な表現形態による器楽・歌唱を身につけている。 「思考・判断・表現」 歌唱・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。 「主体的に学習に取り組む態度」 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価の方法	「知識・技能」 実技課題や小テスト 「思考・判断・表現」 実技課題への取り組み 「主体的に学習に取り組む態度」 日々の実技課題やプリント学習への取り組み方

学期	学習計画および内容
1 学期	教科書に含まれる楽曲を歌唱する。 個別の課題に沿った課題を設定しそれを出来るようにする。 様々な音楽の知識(より高度な楽典)を学ぶ。楽典を学習する。
2 学期	教科書に含まれる楽曲を歌唱する。 個別の課題に沿った課題を設定しそれを出来るようにする。 様々な音楽の知識(より高度な楽典)を学ぶ。 創作(作曲や作詞など)などを行いより音楽の知識を深める。楽典を学習する。
3 学期	教科書に含まれる楽曲を歌唱する。 個別の課題に沿った課題を設定しそれを出来るようにする。 創作(作曲や作詞など)などを行いより音楽の知識を深める。楽典を学習する。
備考 ・履修条件 ・注意事項 等	保育、教職、音楽系の大学専門学校等の受験をする場合の対応を視野に入れて行いますので内容が高度になってきます。積極的に取り組むことが必須条件になってきますので良く考えて履修してください。

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
芸術	総合美術	2	3年・普通科 スタンダード	選択K	なし	なし

学習目標	美術に関する総合的な創造活動を通して、美的体験を豊かにし、感性や創造的な表現と鑑賞の能力を高める。
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。美術文化の知識や技法の知識を理解している。
	「思考・判断・表現」 造形的な良さや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識を持って美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができる。
	「主体的に学習に取り組む態度」 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を持ち、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造しようとしている。
評価の方法	「知識・技能」 机間巡視による観察・作品
	「思考・判断・表現」 机間巡視による観察・ワークシート・提出物
	「主体的に学習に取り組む態度」 机間巡視による観察・ワークシート・提出物・プレゼンの取り組み

学期	学習計画および内容
1 学期	映像：造形：身近な素材（つまようじやアルミホイルなど）を用い、立体作品を創作する。
	卒業制作：卒業制作のテーマを、自ら構想・企画を練り、題材と表現方法（絵画・立体・映像など）を決定する。
2 学期	卒業制作：各自が決めたテーマをもとに制作を開始する。
3 学期	卒業制作：作品を完成させる。

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	※教材費は、各自が選んだテーマにより必要額が変わります。 ※生徒の実態や希望に合わせ、学習内容は変更します。
---------------------------	---

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
芸術	総合書道	2	3年・普通科 スタンダード	選択K	なし	なし

学習目標	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を伸ばす。
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に着けている。
	「思考・判断・表現」 書のよさや美しさを感じ取り、書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができる。
	「主体的に学習に取り組む態度」 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を育もうとしている。
評価の方法	「知識・技能」 机間巡視による観察・作品
	「思考・判断・表現」 机間巡視による観察・ワークシート・提出物
	「主体的に学習に取り組む態度」 机間巡視による観察・ワークシート・提出物・プレゼンの取り組み

学期	学習計画および内容
1 学期	漢字仮名交じりの書の学習 ①用具・用材や書風②線質や全体の構成の工夫 楷書の学習 ①古典の臨書②古典の鑑賞③作品制作
	行書の学習 ①古典の臨書②古典の鑑賞③作品制作
2 学期	草書の学習 ①用筆法②古典の臨書③古典の鑑賞④作品制作 隷書の学習 ①用筆法②古典の臨書③古典の鑑賞④作品制作
	篆書の学習 ①用筆法②古典の臨書③古典の鑑賞④作品制作
3 学期	仮名の学習 ①古典の臨書②古典の鑑賞④作品制作 漢字仮名交じりの書2 ①生活に生きる書②鑑賞③作品制作

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	* 基本的に、毎時間作品を提出します。書道は、集中をし、何度も何度も同じことへの繰り返しのなかから、上達するものです。自ら進み、積極的な気持ちを持って履修するようにしてください。 * 教材費は年間で約1,000円必要です。 * 学習する各テーマは、実施する学期が変わることがあります。
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
芸術	音楽Ⅲ	2	3年 情報ビジネス科 システム工学科	選択Q	Joy of Music (教育芸術社)	なし

学習目標	○より高度な音楽表現を追求する。 ○アンサンブルやグループ活動を通して他者と協調して一つの音楽を作り上げる。 ○さまざまな音楽に触れることで感性を磨く。
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景を理解し様々な表現形態による器楽・歌唱を身につけている。
	「思考・判断・表現」 歌唱・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したものと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。
	「主体的に学習に取り組む態度」 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価の方法	「知識・技能」 実技課題や小テスト
	「思考・判断・表現」 実技課題への取り組み
	「主体的に学習に取り組む態度」 日々の実技課題やプリント学習への取り組み方

学期	学習計画および内容
1 学期	イタリア歌曲・ドイツ歌曲を中心に歌唱する。 個別の課題に沿った課題を設定しそれを出来るようにする。 様々な音楽の知識(より高度な楽典)を学ぶ。楽典を学習する。
2 学期	イタリア歌曲・ドイツ歌曲を中心に歌唱する。 個別の課題に沿った課題を設定しそれを出来るようにする。 様々な音楽の知識(より高度な楽典)を学ぶ。 創作(作曲や作詞など)などを行いより音楽の知識を深める。楽典を学習する。
3 学期	個別の課題に沿った課題を設定しそれを出来るようにする。 創作(作曲や作詞など)などを行いより音楽の知識を深める。楽典を学習する。

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	「音楽Ⅱ」を履修している人のみ履修できます。楽器の技術を習得したい人や保育、教職、音楽関係の大学専門学校を受験したい人は受講して下さい。ただし音楽関係の受験への対応を視野に入れて行いますので内容が高度になってきます。またそれぞれで課題が違いますので、自主的に取り組めることが必須条件になってきます。よく考えて履修してください。
---------------------------	--

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
芸術	美術Ⅲ	2	3年 情報ビジネス科 システム工学科	選択Q	美Ⅲ (日文)	なし

学習目標	美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。美術文化の知識や技法の知識を理解している。
	「思考・判断・表現」 造形的な良さや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識を持って美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができる。
	「主体的に学習に取り組む態度」 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を持ち、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造しようとしている。
評価の方法	「知識・技能」 机間巡視による観察・作品
	「思考・判断・表現」 机間巡視による観察・ワークシート・提出物
	「主体的に学習に取り組む態度」 机間巡視による観察・ワークシート・提出物・プレゼンの取り組み

学期	学習計画および内容
1 学期	①素描：身近なモチーフを深く観察し、それを鉛筆デッサンで表現する。
	卒業制作：卒業制作のテーマを、自ら構想・企画を練り、題材と表現方法（絵画・立体・映像など）を決定する。
2 学期	卒業制作：各自が決めたテーマをもとに制作を開始する。
3 学期	卒業制作：作品を完成させる。

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	※教材費は、各自が選んだテーマにより必要額が変わります。 ※生徒の実態や希望に合わせ、学習内容は変更します。 ※原則として「美術Ⅱ」を履修した生徒のみ「美術Ⅲ」を選択できる。
---------------------------	---

教科名 科目名		単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
芸術	書道Ⅲ	2	3年 情報ビジネス科 システム工学科	選択Q	書Ⅲ (光村)	なし

学習目標	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を伸ばす。
評価の観点 評価規準	「知識・技能」 書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。
	「思考・判断・表現」 書のよさや美しさを感じ取り、書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができる。
	「主体的に学習に取り組む態度」 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を育もうとしている。
評価の方法	「知識・技能」 机間巡視による観察・作品
	「思考・判断・表現」 机間巡視による観察・ワークシート・提出物
	「主体的に学習に取り組む態度」 机間巡視による観察・ワークシート・提出物・プレゼンの取り組み

学期	学習計画および内容
1 学期	硬筆の学習 ①速書き ②楷書・行書 ③漢字仮名交じり文 ④はがき ⑤ポスター
	漢字の理論 ①漢字の部首 ②筆順 ③草書 ④旧字体
2 学期	作品制作1(小作品) ①選文 ②作品構成 ③検字 ④半紙練習 ⑤ミニチュア作成 ⑥原寸大
	作品制作2(大作品) ①選文 ②作品構成 ③検字 ④半紙練習 ⑤ミニチュア作成 ⑥原寸大
3 学期	卒業制作 ①作品制作 ②鑑賞

備考 ・履修条件 ・注意事項 等	* 基本的に、毎時間作品を提出します。書道は、集中をし、何度も何度も同じことへの繰り返しのなかから、上達するものです。自ら進み、積極的な気持ちを持って履修するようにしてください。 * 教材費は年間で約1,000円必要です。 * 学習する各テーマは、実施する学期が変わることがあります。 * 2年次「書道Ⅱ」を履修した人しか選択できません。
---------------------------	--